

読者投稿

あしたの風

wind for tomorrow

毎月、第2、4週に掲載。地域の課題や出来事、まちの話題などのほか、毎月決まったテーマでの投稿や、身近な題材で自由に書いていただくエッセーを紹介します。

★12月のテーマは「夢」。

締め切りは、12月17日(火)。
見る夢、かなえる夢、そして新年は初夢。「夢」にまつわる話をお寄せください。
※テーマ「秋」は11月も続けて紹介します。

テーマ投稿「秋」

新米を買った。夏の終わりに品薄になった時には少し困ったが、これで一安心だ。10月上旬のこと。炊きたての白米をありがたくいただく。新米を前にすると拝むような気持ちになる。「今年もありがとう」、「これで来年もやっつけます」という気分です。まるで大みそかとお正月みだりだ。昔のヨーロッパでは、秋の収穫祭が行われる10月末は1年の終わりで、11月に新年を祝う地域もあったそう。新鮮な初物に困まれて

犬も食べない…

白取 有加さん(59歳・会社員) = 恵庭市

めでたいことだ。数年前の秋、夫に米の買い物を頼んだ。10キロ入りの袋を見て「あれ？まだ新米出てなかったの？」と尋ねたら、何だか曖昧な返事をした。数日後に新米の米の価格を見比べて、買い物上手を気取った選択だったと分かり、けんかになった。「新米を食べないと寿命が縮む」、「次に買えばいいだろ」、「その頃には新米じゃなくなってるよ！こんなに買っちゃって！」犬も食べない、言い合いをしてしまった。

4人の孫に伝えたいことがある。40年の会社人生で三つの出来事を通じて学んだ。一歩間違えたら迷うことになりかねなかった。東京の損保会社に就職。20代の頃、ささいなことでも上司に反発し、不満を言うため同僚2人と協力。社内旅行の宴会で最初にかみついて、2人は黙々と食事中で我に返る。以後、勤務評定に影響が出た。30代後半で、都内の支店に技術職で異動。研修で皆がピリピリする、個性の強い鬼講師が気に入らず、担当課

孫たちへ

武者 満雄さん(83歳・無職) = 千歳市

長に不満を漏らした。翌日、鬼講師から自宅に電話があり、若さゆえに「あなたに給料をもらっているのではない」と反論。以後、嫌がらせは続いたが、定年間で独立するまで勤め上げた。退職時に、会社から後輩への引き継ぎと指導を頼まれたが、守ってくれなかった会社への遺恨から断った。上司も鬼講師も既に亡い。若気の至りと猛省。18、24、25、28歳の孫たちよ。若さは宝で無限の可能性がある。それを信じて生きろ！

胆振東部地震からもう6年が過ぎました。2018年9月6日未明。あの時のブラックアウトは、今までに経験したことがない大変な出来事でした。私が住んでいる地域は通電するのが遅く、3日目の夕方でした。夜は懐中電灯で過ごし、食事はカセットコンロで作りました。カセットボンベも備蓄していたので買いに走ることもありませんでした。車庫に置いてある高さ120センチくらいの冷凍庫に、いつもお肉や魚などを

地震と冷蔵庫

太田 千鶴子さん(71歳・千歳商工会議所女性会副会長) = 千歳市

詰め込んでいます。停電で解凍していき、食材を順に食べました。食料には困りませんでした。フレンチウーを作り、近くに住む友達にお裾分けして喜ばれました。冷凍庫は結婚した時からありました。息子に、ため込み過ぎと怒られていましたが、この時は良かったとつくづく思いました。今も変わらず食材が冷凍庫いっぱいに入っています。これからは変わらぬと思います。いつまた地震が起こるか分からないので…。

夕暮れが早くなる秋。25年ほど前のことだ。たそがれ時、外出からもうすぐ自宅という交差点。制服姿の女子高生が、保育園児の男の子を連れて帰る後ろ姿を見ながら歩いていたら、渡り切るあたりで思わず「おねえちゃん、偉いね」と声をかけた。するとケラケラと照れ笑いだ。2人と左右に分かれ、少し歩いてはたと気づいた。あの子たちは、遠い昔の私と弟の姿ではないかと。私が中学生の頃、当時、朝は母が忙しく、学校の300メートル

弟と私

冬花(とうか)さん(71歳・主婦) = 恵庭市

先に保育園があるので春から弟を送り始めた。1カ月ぐらいたって弟の自立心を養おうと、今日からはこの電信柱まで、次はここまでと送る距離を短くしていく。弟は20歳で家を出て以来、波乱の人生を送り心配のし通じた。20年前に出会った女性と再婚同士で結婚。神奈川で幸せに暮らしている。近々来る予定で、弟の嫁さんも交えて子供時代の話をしようかと楽しみにしている。

投稿のきまり

原稿には手を加えさせていただくことがあります。一般、テーマ投稿、エッセーとも文章は400字程度で、未発表の原稿に限りです。年齢制限はありません。ペンネームは使用可。受け付けは郵便、Eメール、ファクスで。いずれも郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号の明記を。採否のお問い合わせはご遠慮ください。採用された方には薄謝をお届けします。

郵便

〒066-0073
千歳市北斗4丁目13-20
株式会社メディアコム
ちゃんど編集部「あしたの風」宛

Eメール

ashitanokaze@chanto.biz

FAX

0123-27-4911

宛先

わたしの「生活史」

まちライブラリー@ちとせの文章教室「書くまちライブラリー」の参加者による作品を掲載します。教室参加ご希望の方は下記までご連絡ください。

#20 思い出の秋

石岡 清司(88歳・無職) = 千歳市

一人の少年がこの街の駅に降りた。少年は傷ついていた。敗戦で故郷の樺太(サハリン)を追われ、一足先に帰還した家族と会うためにやって来た。76年前のことだ。少年とは8月に米寿を迎えた私のことである。三船遭難事件から奇跡的に逃れ、この街に安住の地を求めた。駅から少年の目には、噴煙たなびく雄大な樽前山(1041メートル)とその山麓の景色が鮮やかに映る。心が安らぎ、感銘を受けた。街の舗装された道、すぐ横には清流千歳川。終の棲家(ついのすみか)と決めた。この街で学業を修め、社会人となり一家の家計を支えた。職場で登山クラブに参加。23歳の頃、初めて体験したのが秋の樽前山登山だ。9月初め、残暑が厳しかった。一面絵葉書のような風景が広がり、紅葉の美しさは筆舌に尽くしがたい。現場でしか味わえない感動を覚えた。歳月は矢のように流れ、あれから65年。当時の思い出は、今でもはつきりと脳裏に刻まれている。

まちライブラリー@ちとせ 登録料500円で、どの地域に住む方も会員登録が可能。2週間3冊の本の貸出や、館内でのイベント開催、Wi-Fiなどの設備を利用できます。【営業時間】10:00~20:00(火曜定休) 【問合せ】Tel.0123-21-8530

2024 千歳稲穂サッカースポーツ少年団 キッズフットサル体験会

新しい仲間を大募集!フットサルから始めよう!

●とき/11月23日(土)・24日(日) (両日参加可)
9:30~11:00(9:15受付)

●ところ/末広小学校体育館(千歳市富丘2丁目6-2)

●対象/年中~小学3年生(他学年応相談)

●持ち物/動きやすい服装・上履き・水筒・ボール(貸し出し可)

お申込問合せ 千歳稲穂サッカースポーツ少年団
TEL 090-6214-9847(濱口)
TEL 080-1872-2047(森田)
ショートメールでのお問合せも可能です

越冬野菜フェア

11/9(土) 10(日) 開催!!

越冬・漬物用野菜

他の商品も多数取り扱っております。

塩漬野菜

漬物用品

花の野 かのな Enwa Farmers market KANONA

店舗内・外販売品、送料 ALL 5%OFF

道と川の駅「花ロード」えにわ敷地内 恵庭市南島松817-12 TEL36-2700 11月1日より9:00~16:00

秋に食べたいもの TOP 10

毎年待ちどしい

1 柿

今年も食べられるかな?

2 秋刀魚

美味しいけど、どうしても味が薄くなってしまふ

3 炊き込みご飯

4位…梨

5位…天ぷら

6位…ナス

7位…モンブラン

8位…石焼きイモ

9位…きのこ汁

10位…かぼちゃ

※このランキングは制作者が好み勝手に選んだものなので、一切クレームはお受けできません。